

SUBARU R1

FACE_1



HIP_1



PROFILE_1



小さいからこそ愛されて、
小さいからこそ誇りに思えること。

軽自動車というと、どんなイメージをお持ちでしょうか？

きっと経済性や利便性といったものが思い浮かぶはずです。

いまのSUBARUは、その軽というクルマの価値そのものを変えようとしています。

安くすべしというだけでなく、小さなボディにもっとも大きな満足をもたらすこと。

必要なのは、大きさと重さに挑戦するクルマづくりです。

小さくても大きな安心を実現した安全性。軽量化による低燃費を実現した経済性。

走る愉しさを心から味わえるドライビング性能。

あらゆる技術もこの大きさの中に凝縮し、いままでにないクオリティを發揮しています。

誰でも「かわいい」と思える大きさと、誇りに思える技術の結晶。

それが、これからの小さなクルマの価値になると考えます。

いいクルマとは、あなたが本当に愛せるクルマ、自然に頼りきるクルマのこと。

SUBARUの軽、じっくりつきあってみてください。

SUBARU・軽



Think. Feel. Drive. |  SUBARU

SUPERQCAR

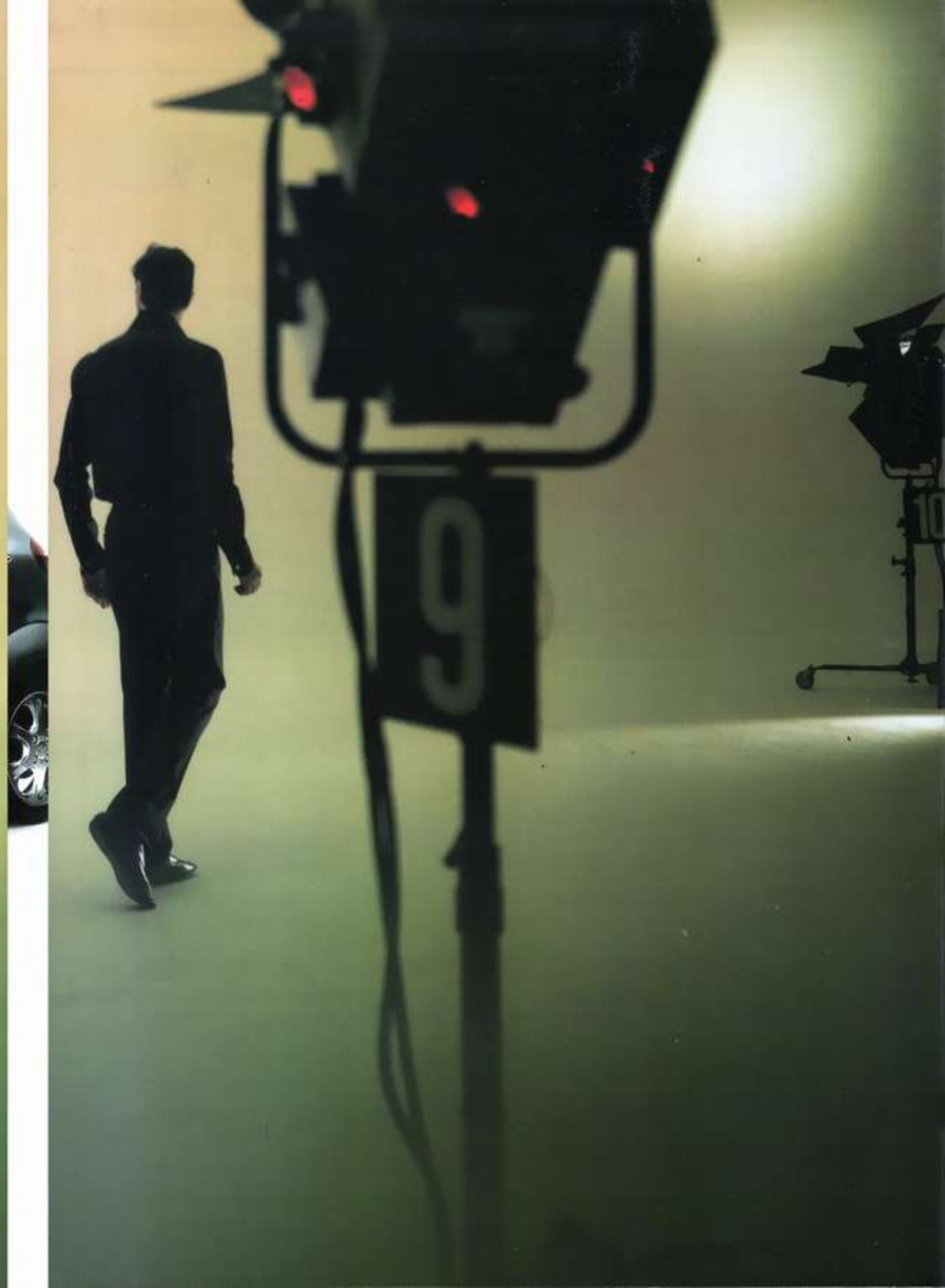


あらゆるSUBARUがつまってる。

SUBARU・軽 **R1**
●TEN-TOU●



SUBARU R1:
SUPER
MODEL...?





"Cool?" "Cute?"

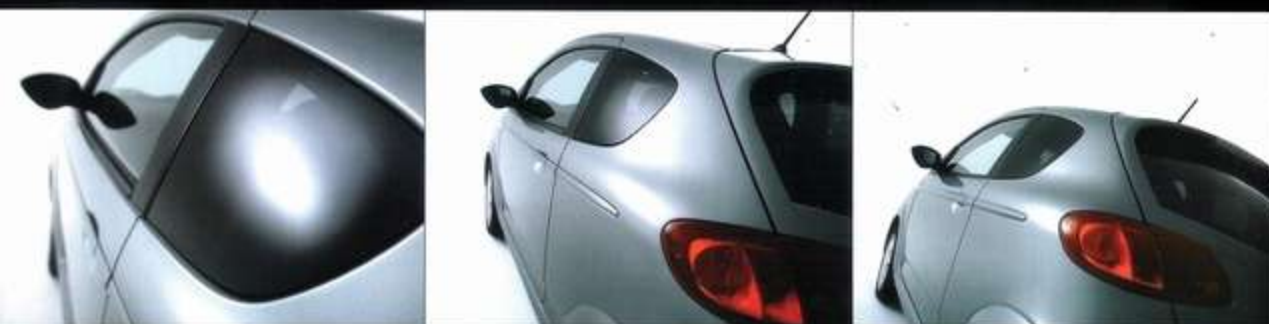
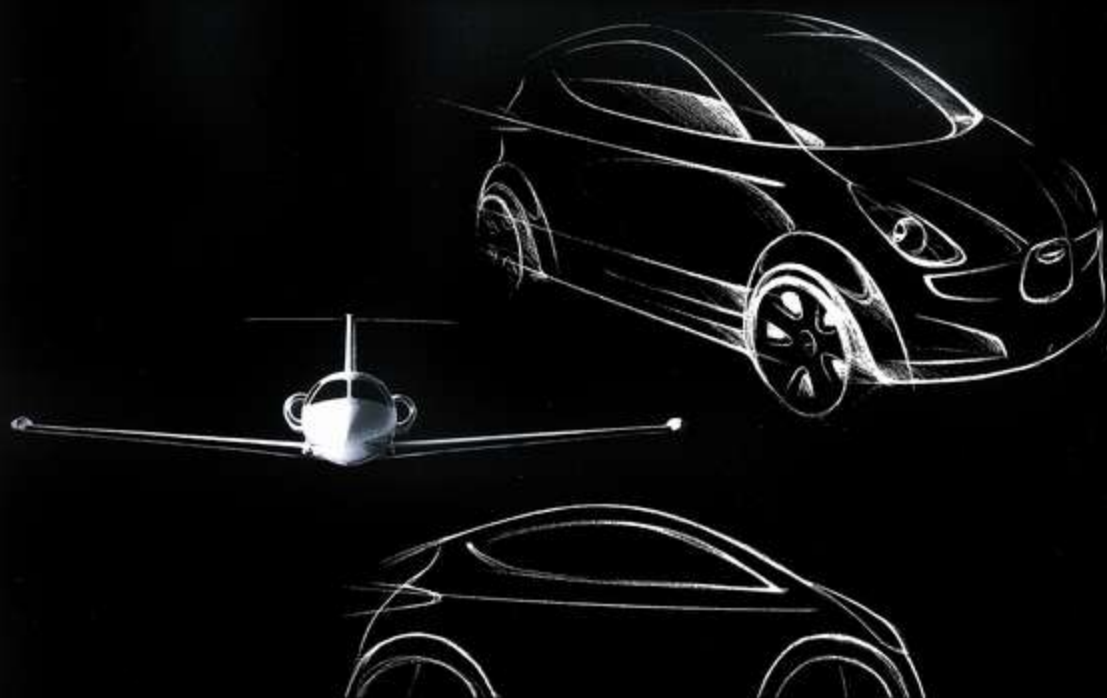


PHOTO:チタニウムグレー・メタリック 2灯式HID、2色メラメタリック・メタリック

SUBARU R1: EXTERIOR CONCEPT



スバル360

ひとめ見た瞬間に、時代が変わるような。

美しいアーチをえがく、滑らかなワンモーションフォルム。優れた性能がギュッと凝縮されていることを感じさせる、強りのあるボディライン。SUBARU R1がめざしたのは、軽自動車に乗ることの価値、そのものを一新すること。経済性や実用性だけでなく、センスやクオリティで乗る人と響きあう。小さいクルマと人との新しい関係を、このデザインは物語っています。翼をイメージしたフロントのエアインテーク。それは、航空機メーカーでもある私たちSUBARUが受け継いだチャレンジ精神の象徴。私たちが最初に造った量産車、スバル360。小さいボディに高性能を凝縮した通称“てんとう虫”は、クルマをより身近なものに変え、生活や社会に大きな影響を及ぼしました。それから約半世紀。“てんとう虫”は再び飛翔します。今のあなたに、そしてこれからの時代にとって最良の“スーパースモールカー”であるために。

"Radical?" "Chic?"

BODY
COLOR

ベリレッド・メタリック

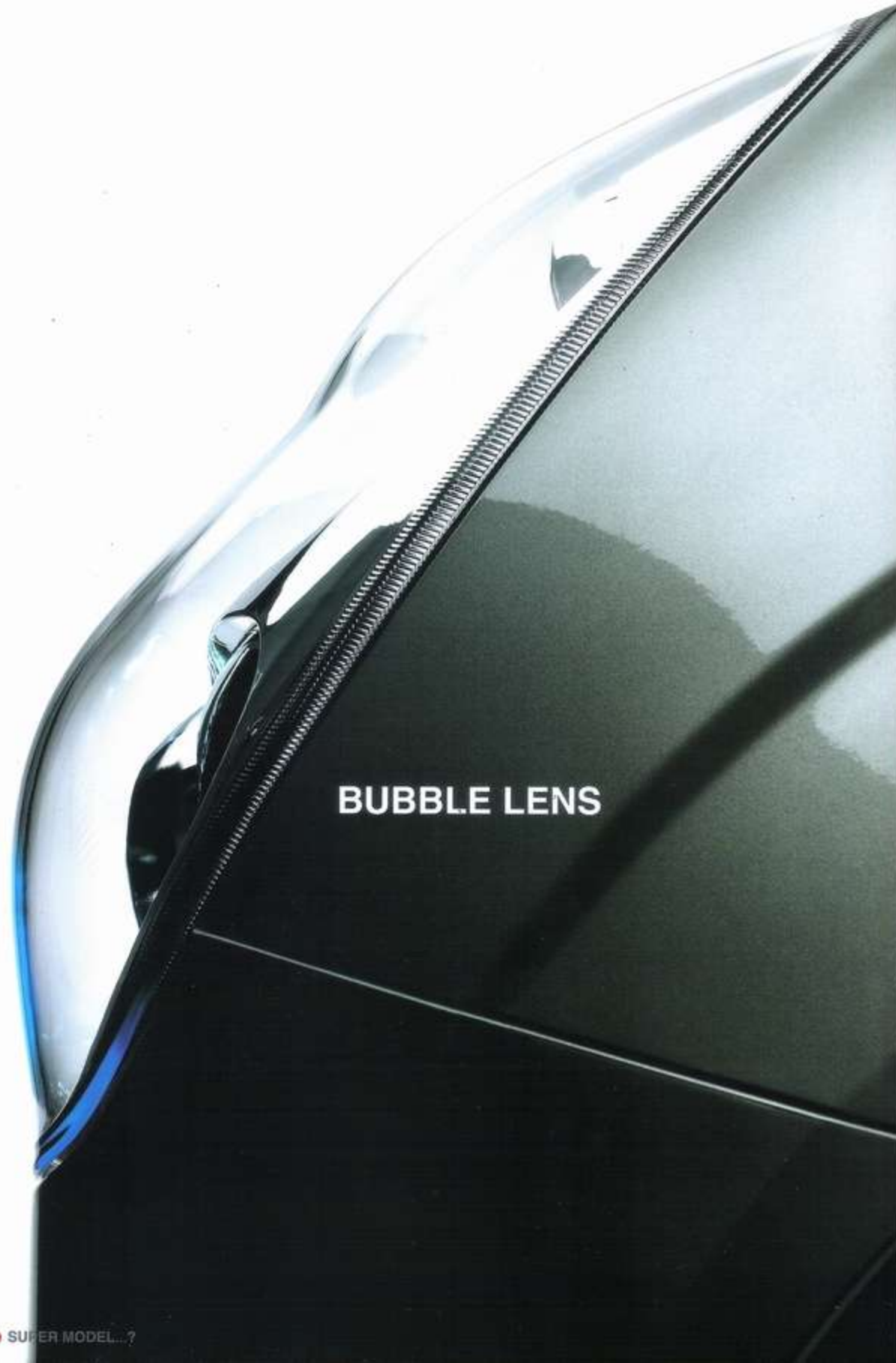
チタニウムグレー・メタリック

アゲスグレー・メタリック

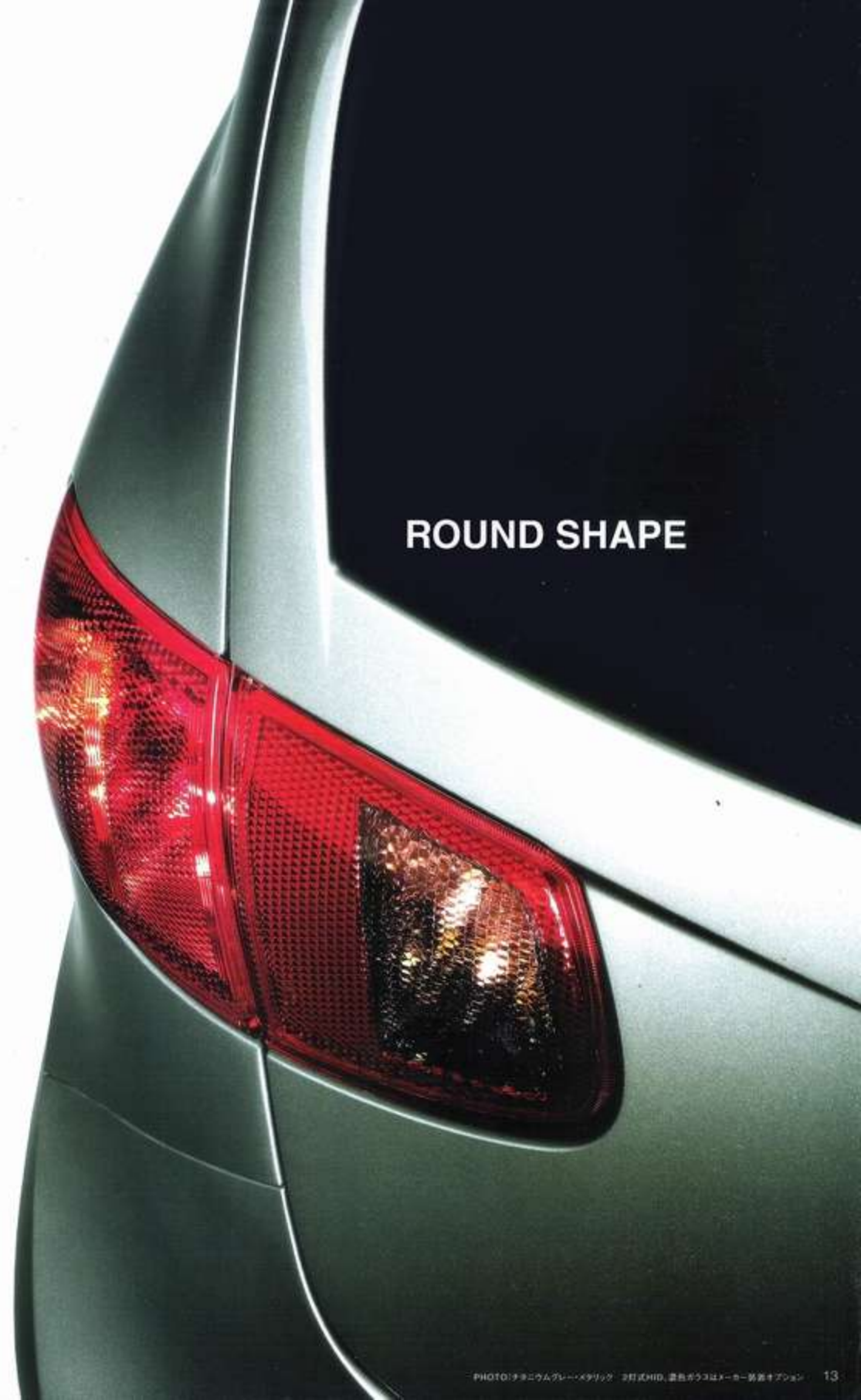
ブルー・メタリック

シルバー・ホワイト・パール
(15,750円高・消費税別)

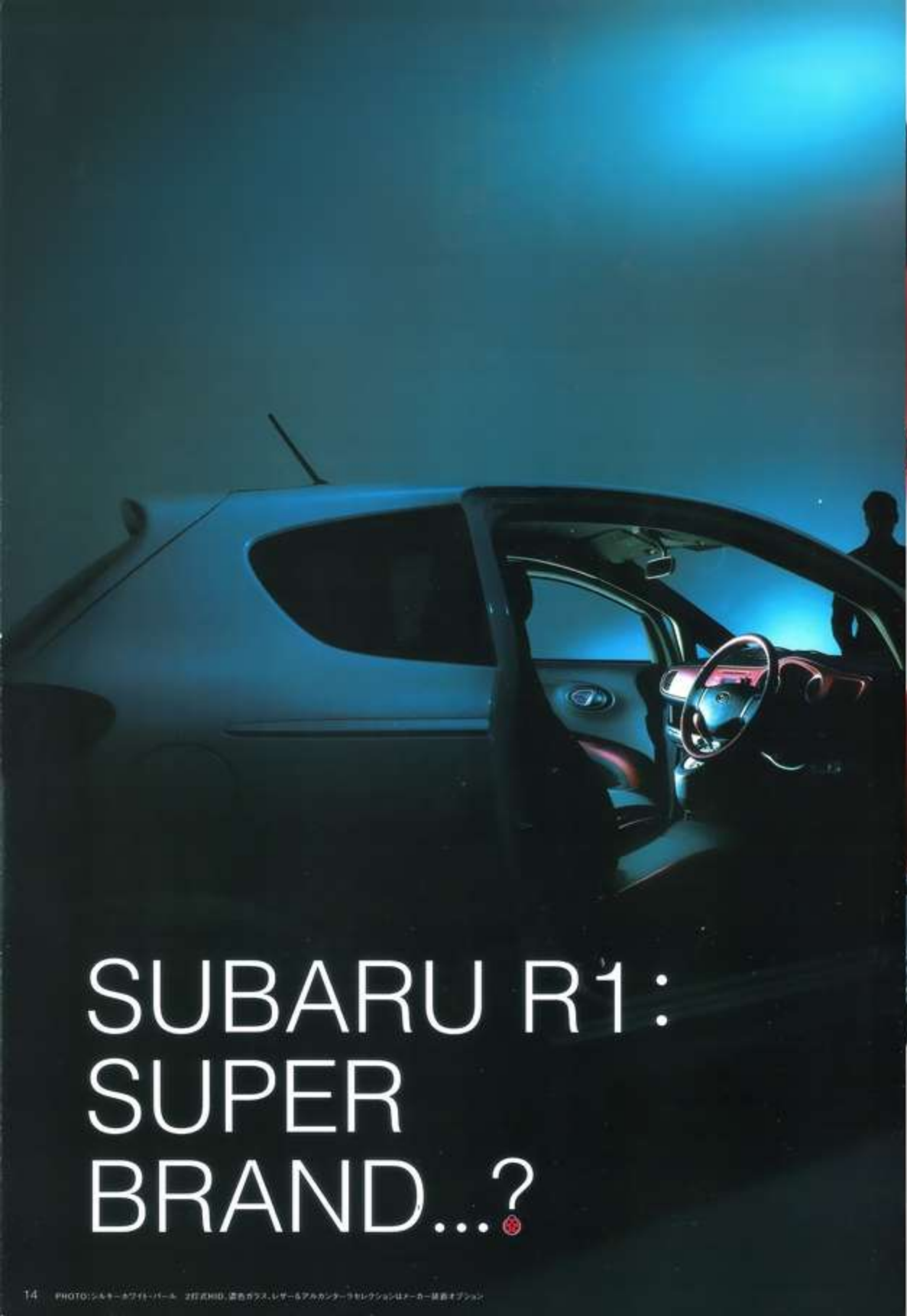
オプションブラック・パール



BUBBLE LENS



ROUND SHAPE



SUBARU R1: SUPER BRAND...?





"Coupe?" "Mini-wagon?"



PHOTO: 2灯式HID、遠近光スライド、レーザーアルカンターラセレクションはメーカーオプション

SUBARU R1: INTERIOR CONCEPT

助手席を倒すと、
ちょっとした小物が置けるテーブルに!

たんだバックレストと座り
想像以上に使えるシークレット

なんと、運転席側から助手席をたためます。

ウォークインスライドも
運転席から操作可能。

雨水加工のラゲッジデッキ。
だから、汚れを気にせず使えます。

底の深いサブトランク。
ハイヒールも入ってしまうほど。

リヤシートにもシークレットスペース。
何を入れますか?

左右8個のフック。重い物袋をつるしたり、
ネットを張ったり、使い方は自在。

後ろからだけでなく、
運転席側からも後席が起こせます。

そこには、大きな自由が詰まっている。

あなたがクルマの中で過ごす時間を、もっと豊かにする。高級車にはあっても、小さいクルマには無かった発想です。

けど、そんな常識を取っ払ってみれば、小さいクルマはパーソナルな時間を愉しむための
最良の空間となるのではないのでしょうか。見るたびに、触れるたびに感じる、高いクオリティ。新鮮でなおかつ
飽きずに付き合ってもらえるデザイン。SUBARU R1のインテリアには、まるでプレミアムカーのような
こだわりが込められているのです。さらに、このクルマで過ごす時間を豊かにするのが、シートアレンジのフレキシビリティ。
一人で乗る時は、助手席を倒してテーブルにしたり。ラゲッジデッキのフックを使って、趣味のために使ったり。
アイデアひとつで多彩な使い方が広がります。本当の豊かさは、数字じゃ測れない。

この小さな空間には、まさに、測ることのできない豊かさが詰まっているのです。

"For a hobby?" "For a date?"

"Where do you go?"

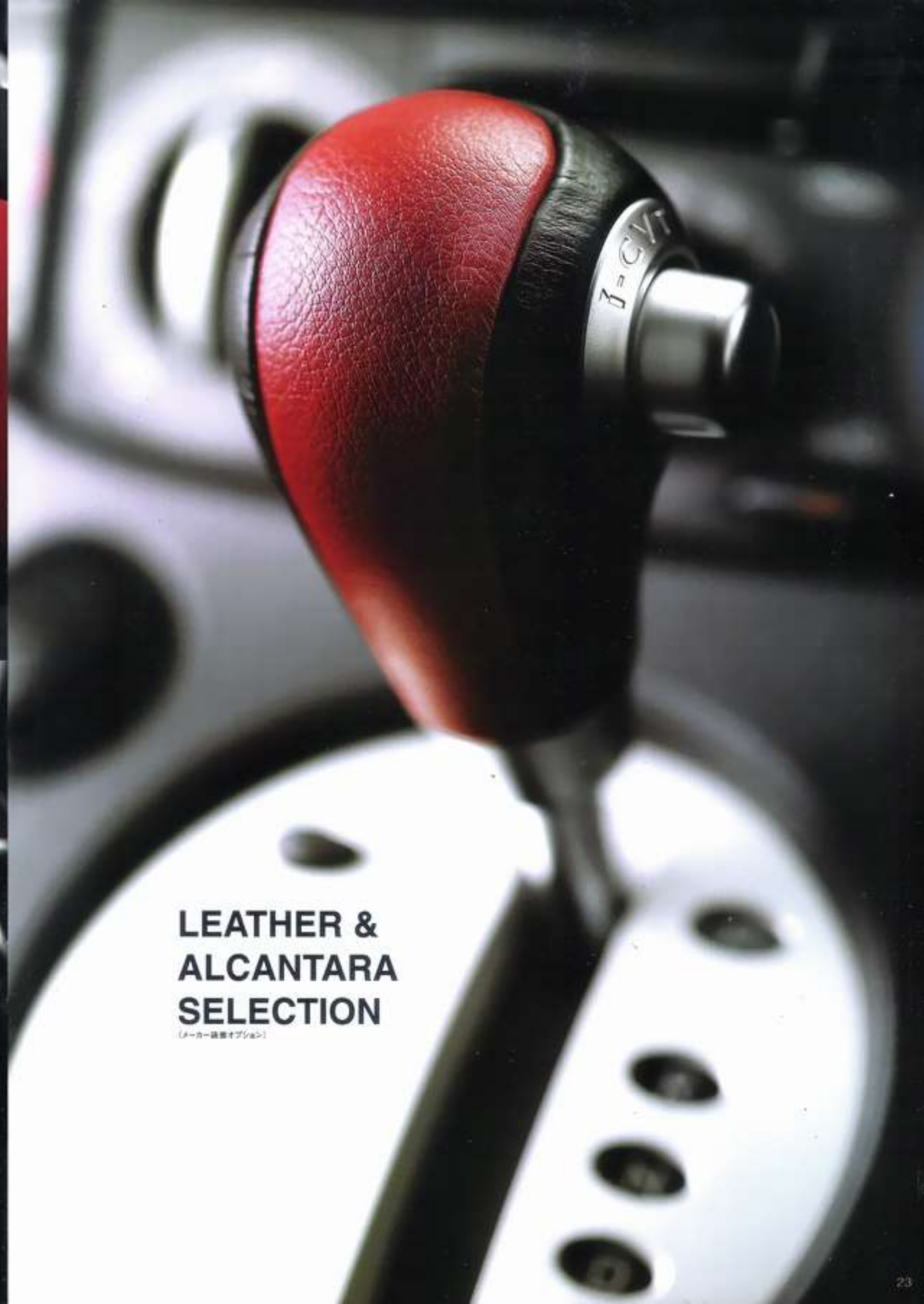




ELECTRO LUMINESCENT METER



COLORED PANEL



**LEATHER &
ALCANTARA
SELECTION**

(メーカーオプション)



SUBARU R1: SUPER CAR...?



Think. Feel. Drive.



www.subaru.co.jp

シートベルト、チャイルドシートを忘れずに。
スピードはひかえめに、安全はSUBARUの願い。

2004K-108 (2004.12)



R40

全紙面を95%以上大豆インク
を使用しています